

1 サンヤク末

2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験

4 (1) 本品0.2 gに無水酢酸2 mLを加え、水浴上で2分間加
5 温した後、ろ過する。ろ液1 mLに硫酸0.5 mLを穏やかに加
6 えるとき、境界面は赤褐色～紫褐色を呈する。

7 (2) 本品1 gにメタノール/水混液(4:1) 4 mLを加え、10
8 分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料溶液とする。
9 別に薄層クロマトグラフィー用アラントイン1 mgをメタノ
10 ール/水混液(4:1) 2 mLに溶かし、標準溶液とする。これ
11 らの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験
12 を行う。試料溶液5 μ L及び標準溶液2 μ Lを薄層クロマトグ
13 ラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットす
14 る。次に酢酸エチル/メタノール/水混液(7:3:1)を展開
15 溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに4
16 ージメチルアミノシンナムアルデヒド0.2 gを6 mol/L塩酸試
17 液10 mL及びエタノール(99.5) 10 mLに溶かした液を均等に
18 噴霧し、105 $^{\circ}$ Cで2分間加熱するとき、試料溶液から得た数
19 個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得た淡
20 赤色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

21 -----

22 9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

23 アラントイン、薄層クロマトグラフィー用 $C_4H_6N_4O_3$ 本品
24 は白色の結晶性の粉末又は粉末で、水に溶けにくく、メタノ
25 ール又はエタノール(99.5)にほとんど溶けない。

26 確認試験 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法〈2.25〉
27 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数3440 cm^{-1} 、
28 3340 cm^{-1} 、1721 cm^{-1} 、1532 cm^{-1} 及び1061 cm^{-1} 付近に吸収
29 を認める。

30 純度試験 類縁物質 本品2 mgを水1 mLに加温して溶かし
31 た後、メタノール2 mLを加えた液5 μ Lにつき、「サンヤ
32 ク」の確認試験(3)を準用して試験を行うとき、 R_f 値約0.5の
33 主スポット以外のスポットを認めない。

34

35